

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(12月16日)(第16号)



「効果的なノートの取り方」とは？

ある日本史の授業の後に、抜き打ちのテストを実施してみると、ノートの取り方で驚くべき結果が出たそうです。ただ先生の板書をそのまま写し取っただけの生徒たちの平均点が20点台だったのに対し、板書を写し取る時に自分が疑問に思ったことや先生が大事なと言ったこと、自分の感想などをノートの余白に書き込むように事前に指示された生徒たちの平均点は60点台でした。ただ写し取るだけの生徒の脳はほとんど活動していないのに対し、考えながら写し取っていく生徒の脳は盛んに活動していたという実験結果が出たようです。実際に、東京のある中学校は、方眼ノートに授業の要約、気づき、疑問、まとめ、行動目標を書かせる「基本フレーム」を作り、生徒に利用させているそうです。ノートを取ることが「目的」になってしまうと、記憶に残らないということですね。

「島旅プランコンテスト」



12月9日(月)和泊町役場結ホールにて、おきのえらぶ観光協会主催の「島旅プランコンテスト」が開催され、商業科の生徒が発表しました。これまで商業科3年では「観光ビジネス」という授業の中で、おきのえらぶ観光協会の御協力を得ながら、島外の高校生向けの修学旅行のプラン作りに取り組んできました。これは観光庁の「地域観光新発見事業」にもなっているので、旅行業者が入り、コンテストで優秀だったプランは実際に販売されることになっています。当日は、生徒21名が5班に分かれ、ビーチクリーンやマンゴー収穫体験、沖高エイサー部入部体験等、各班3つずつ合計15の企画を提案しました。結果は、「～雲外蒼天～島の大人たちと舟こぎガチンコ対決」の班が、最優秀賞に選ばれました。審査に加わった商業科1年生にとっても、島の魅力を再発見する良い機会となりました。

「エコプロ2024」商業科6名参加



12月4日から6日にかけて、東京ビッグサイトで行われた「エコプロ2024」に、商業科3年生6名が参加しました。知名町の「昇竜洞」の周辺を実際に走行する「自動運転車両」の開発を、知名町、名古屋大学、岐阜大学、鹿児島大学、ヤマハ発動機が取り組まれており、そのプロジェクトに商業科の生徒も加えていただき、車両のデザイン等の考案に貢献しました。生徒6名は、4・5日に展示の説明員として登場し、見学に来られた方々に制作に込めた思いを込めながら立派に説明できたようです。その時の様子を、また改めて校内でも発表してもらおうと考えています。

「SIM沖永良部2050」



12月4日(水)6・7限目に、1年普通科の「せりよさ(総合的な探究の時間)」では、「SIM沖永良部2050」を実施しました。これまで和泊町役場を訪問して取材をし、事業内容等を理解して本番に臨みました。ゲームではありますが、市長の運営方針に基づいて限られた時間の中で事業仕分け・予算仕分けを体験してみました。どんな理由でどの事業を優先するかは、実際に役場の職員の方々にとっても難しい選択です。グループ対抗で、役場と市民の立場になって説明と質問を2ゲーム体験してもらいましたが、白熱してとても面白かったです。2ゲーム目は、自分たちの体験を元に筋の通った説明ができた班もあり観客から拍手がわいていました。見学していた県教委の先生方も2・3の事業を重ねているところは、県庁職員も見習うべきだとおっしゃっていました。このゲームを通して、地域の課題を自分事として考えられたと思います。その課題を解決するにはどうすればよいのか深掘りできるといいですね。

「ポスターセッション」見学



12月6日(金)7限目に鹿児島大学法文学部法経社会学科コースの澤田成章准教授とゼミの学生さんが来校され、1年普通科の生徒に向けて、ポスターセッションを実施していただきました。5つのブースに分かれて、今研究されている内容を5班に分かれた生徒に説明していただき、生徒の質問を受けるという形式で5セット行いました。大学院の学生さんは5回も説明しなければならず、さすがに疲れた様子でした。

「沖永良部台風」や「島バナナ」、
「沖永良部に関する文献や資料」が研究対象になることを知って、生徒の皆さんは意外に感じたかもしれません。普通科2年生の探究活動の最後は、同じように自分の活動をポスターセッションで説明してもらうことになります。実は、青色のジャンパーを着ていた大学院生は、私が前任校で最後に教えた生徒でした。偶然の再会に感謝です。

鶴田玲美選手の「かけっこ教室」



12月7日(土)14時より2回目となる鶴田玲美選手による「かけっこ教室」が本校体育館で行われました。今回は沖高振興事業の地域貢献活動の一環で、小中学生対象に実施し、陸上部員とサッカー部員が運営に協力してくれました。鶴田選手は、鹿児島女子高校から大東文化大学に進学され、現在は南九州ファミリーマートに所属し活動されています。東京オリンピックでは女子400Mリレーに出場し、2023年世界選手権ブタペスト大会では、女子200Mで日本代表として出場しています。一流の選手の走りを見ることができ、直接教えてもらえるモチベーションが上がりますよね。参加した小中学生も楽しそうに走っていました。